

# 新井中央小だより

No. 261

ホームページ <http://azalea.ac.city.myoko.niigata.jp/araich-s/otayori/index.html>

メールアドレス [chuou@ac.city.myoko.niigata.jp](mailto:chuou@ac.city.myoko.niigata.jp)

2021（令和3）年5月28日

## ざんねんなクイズ～「まずは、命」

新型ウィルス感染症の脅威が、身近に迫っていると感じる出来事が増えてきました。この状況下、当校では予定を急遽変更し、5月の全校集会を初めての試みとして各教室へのZoom配信（パソコン経由の「校内テレビ放送」のイメージです）で実施しました。

内容は、警察庁交通局発表の「令和2年における交通事故の発生状況等について」や、同じ警察庁交通局が春の全国交通安全運動の資料として作成した「幼児・児童の交通事故分析資料」等を基にした交通事故防止に向けたクイズです。笑顔になれない「ざんねんなクイズ」となりました。

概要をお伝えします。昨年度データを基に単純計算すると、日本では約80秒で1人（年間総計368,601人）が交通事故でけがをし、約3時間で1人（同2,839人）亡くなってしまう、という現実があります。普通に出かけた家族が二度と戻ってこない、という悲劇が約3時間に1件発生していると考えれば本当に恐ろしくなります。また、日が長くなり、帰宅後の活動が盛んになる5・6月に子どもの交通事故発生割合が最も高くなり、特に16時～17時の事故が多いとのこと。

一方、自転車乗用中の子どもの交通事故（死者・重傷者）の内、約8割に児童側の法令違反（安全不確認、一時不停止等）があるとのこと。

そこで、全校集会では、特にこの2つの標識や表示を「信号を守るのと同じくらい大切なもの」として、取り上げて説明や注意喚起をしました。



通学や日常のお子さんの行動範囲の中で、本当にたくさん目にする標識～危険に直面する場面～のはずです。是非、ご家庭でも、確認や注意喚起をお願いします。

なお、全校集会では他に、自転車乗車時のヘルメット着用の大切さや、子どもが加害者になり、監督義務や賠償責任のある親に1億円近い支払い命令が出たケースの話、スケートボードやキックボード、ローラースクーター等を店内や道路で乗ってはいけないこと等についてお話ししました。

笑いや盛り上がりは一切ない「ざんねんなクイズ」でしたが、子どもたちは「命を守る大切なクイズ」として各教室で本当に真剣に視聴してくれたそうです。

新井中央小学校の大切な合い言葉、「自分もみんなも 明るく うれしく よかったね」の大前提として、自他の命を大切にすることは決して譲れない部分です。「まずは、命」、何もかもが、そこから始まります。

春の全国交通安全週間、ALL 妙高あいさつ運動で、たくさんの保護者・地域の皆様から見守っていただきました。本当にありがとうございました。今後も「危ない姿」を見たら、是非、声をかけてください。そして、できるだけ学校にもお知らせください。教えていただければ子どもたちに指導できます。子どもの命を守る可能性が高まります。みんな大事な「中央の子」です。お力添えのほど、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、文頭からここまで読んでいただく頃には、80秒程度はかかっていることでしょう。「被害」に目が向きがちですが、運転者は同じ数値で「加害」となる危険性があるはず。被害も加害も、悲劇です。私自身、そのことをいつも心にとめて生活したいと思います。（校長 村治 隆夫）